

通常の学級における 特別な配慮が必要な子どもへの 支援について (小学校1・2年生)

徳島県教育委員会 特別支援教育課 長谷 美穂



○本日のテーマ

- ・ 分かりやすさ
(誰にとって?、どんな支援が?)

4・5月

ルールが守れる子にしよう



「集団の中でルールを守ることは値打ちがある」ということを理解させる。



生活経験として体に染みこませる。

ルールが守れる子にするための手立て(クラス全体編1)

- ルールの明示(視覚化)
- 短い言葉で伝える。
- 毎回伝える。



守れたらほめる

ルールが守れる子にするための手立て(クラス全体編2)

枠の中のルールは選ばせる。

自己選択 → 自己決定 → 自己責任

(例)運動場での過ごし方、休み時間の過ごし方

ルールが守れる子にするための手立て(個人編1)

見えないルールの場合

(例)給食は自分だけ大盛りにしない

先回り(予告)して、指導



できたらほめる

ルールが守れる子にするための手立て(個人編2)

自分でルールを作ってしまう場合
(例) 絵が全部描けたら、休み時間はおしまい

先回り(予告)して、指導



できたらほめる

ルールが守れる子にするための手立て(個人編2)

(例) 自分でルールを作ってしまう場合

先生「(図工の時間) 今から粘土をします。
今日は、粘土でごちそうを作しましょう。」

子ども「えー、いやだー。(わたしは動物を作りたい)」

先生「〇〇さん、明日の図工は、粘土でごちそうを作るよ。どんなごちそうを作りたい？」

子ども「お寿司にしようかなあ。」



ルールが守れる子にするための手立て (個人編3)

特性に応じて

(例)じゃんけんには負けるとパニック

先生「負けても泣きません。」



泣かなかったら、ほめる

先生「負けたら〇〇になるよ。」

(負けた時のイメージを確認しておく)



パニックにならなかつたら、ほめる



ルールが守れる子にするための手立て (個人編3)

特性に応じて

(例)カッとなると手がでてしまう

先生「嫌だったら、離れなさい。
先生のところに帰ってきなさい。」



できたら、ほめる



授業中の工夫

- ・ 1 時間の授業内容を黒板に書く。

(例) 国語科の授業

- | | |
|---|--------|
| 1 | おんどく |
| 2 | きょうかしよ |
| 3 | ノート |

- ・ 15分×3種類の学習

授業中の工夫(人権教育)

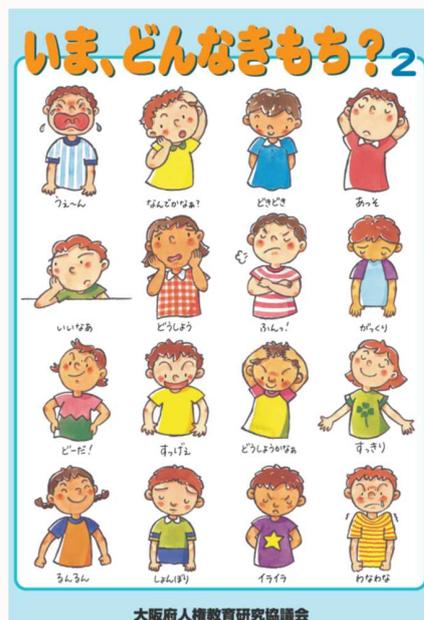
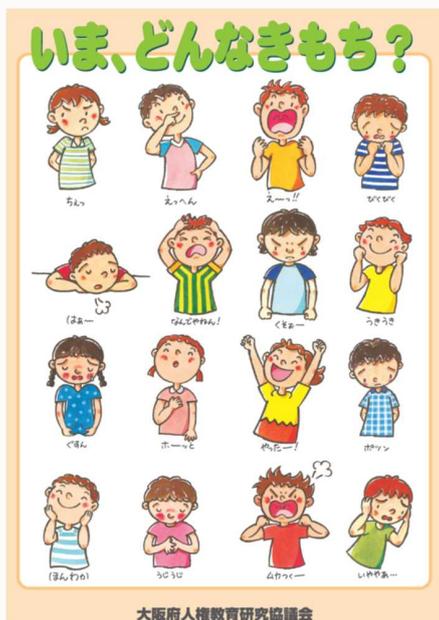
- ・ 自分の持ち味
- ・ 心の温度計

行事の工夫(遠足・運動会)

- ・ ホワイトボードを使って
- ・ 写真を使って

授業中の工夫(人権教育)、朝の会

○いま、どんなきもち？ 大阪府人権教育研究協議会
<http://daijinkyo.in.coccan.jp/>



○いま、どんなきもち?を使って、朝の会のスピーチ。

○最初は、見せる絵を少なく。慣れてきたら、増やして。

◎絵を見て自分の気持ちを確認。

◎語彙を増やす。

保護者との連携、校内での共通理解

1年生Aさんの卒業式参加について
(別紙参照)

言語聴覚士や事業所との連携

- ・ 言語聴覚士が学校で授業観察
- ・ 事業所での過ごし方を担任が観察

うまくいかないこともある

昨年と同じやり方でしてみたけど…

- ・ 1年経ったら
 - ・ 担任が変わったら
 - ・ その日の機嫌で
- } うまくいかない



**2週間やってみて変わらなかったら、
支援方法が悪いかもしれない。
やり方を変える。**

まとめ

**配慮が必要な子にとって特別な支援は、
クラス全ての子に分かりやすい支援になる。**

